Title	Depression in Japan : psychiatric cures for a society in distress (韓国語版)
	Depression in Japan : psychiatric cures for a society in distress (韓国語版)
Sub Title	
Author	北中, 淳子(Kitanaka, Junko)
Publisher	福澤基金運営委員会
Publication year	2023
Jtitle	福澤諭吉記念慶應義塾学事振興基金事業報告集 (2022.)
JaLC DOI	
Abstract	本助成金は、拙書"Depression in Japan: Psychiatric Cures for a Society in Distress" (Princeton University Press, 2012) の韓国語版の刊行費用としていただいた。本書はアメリカ人類学会東アジア部門のFrancis Hsu 賞を受賞し、これまでに、日本語版、フランス語版、ベルシア語版が出され、一部の章は中国語にも訳されている。今回の韓国語版はアジアにおけるメンタルヘルスへの関心のさらなる高まりを示すものである。韓国は、自殺率、うつ病有病率ともOECD1位を記録しており、統計庁の「2019年死亡原因統計」によると、1日平均37.8件の自殺が起きているという。自殺とうつ病の関連がいわれ、社会的介入が早急に求められるなかで、比較文化的視点を提供する本書に注目が集まったようである。翻訳は、日本国立民族学博物館・助教のチェ・ソヒ先生によって企画され、チーム全体の監訳を韓国における自殺の専門家ソウル大学人類学科教授イ・ヒョンジョン先生がご担当くださった。April Booksから2023年6月10日(電子版6月30日)出版され、6月27日現在すでに多くの韓国メディアで取り上げていただいている(以下参照)。朝鮮日報、YTN、ソウル経済、世界日報等でも報道されたようである。 ・ [キョンヒャン新聞]日本の会社員の「Karoshi」をアメリカ人が信じられなかった理由https://www.khan.co.kr/culture/culture-general/article/2023/061708/00021・「ハンギョレ」「社会的な病気」うつ病、個人を治療するのかhttps://www.hani.co.kr/arti/culture/book/1096205.html (国民日報)「精神病から国民病へ」…日本でうつ病が急増した過程と理由https://mews.kmib.co.kr/article/view.asp?arcid=0924307059&code=13150000&cp=nv・「文化日朝]の年代末、日本を据るがした「過労うつ病」…今韓国社会と恐ろしいほど似ているhttps://www.munhwa.com/news/view.html?no=2023/069901031912047001・「ハン和朝鮮うつ病は心の風邪?「伝説的コピー」の怪しい出典https://health.chosun.com/site/data/html_dir/2023/08/14/2023/061401939.html・「教授新聞」つっ病は心の風邪?「伝説的コピー」の怪しい出典https://hews/article/view.html?no=2023/069901031912047001・「外投新聞」つっ病は心の風邪?「伝説的コピー」の怪しい出典https://health.chosun.com/site/data/html_dir/2023/08/14/2023/061401939.html・「教授新聞」つっ病はどのように病気になったのかhttp://www.kyosu.net/news/article/view.html?idata/html_dir/2023/08/14/2023/061401939.html・「教授新聞」つっ病はどのように病気になったのかhttp://www.kyosu.net/news/article/view.html?idata/html_dir/2023/08/14/2023/061401939.html・「教授新聞」つっ病はどのように病気になったのかhttp://www.kyosu.net/news/article/view.html?idata/html_dir/2023/08/14/2023/061401939.html・「教授新聞」のおはいためをいまれたりまれたりまでは、またりまたりでは、またりはいまりまたりでは、またりは、またりは、1000000000000000000000000000000000000
Notes	申請種類:福澤基金出版補助
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO12003001-20220005-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quotin	g the content, please follow the Japanese copyright act.

2022 年度 福澤基金出版補助研究成果実績報告書

研究代表者	所属	文学部	職名	教授	- 補助額	1,063,040	円
	氏名	北中 淳子	氏名 (英語)	Junko Kitanaka			13

出版物名

Depression in Japan: Psychiatric Cures for a Society in Distress (韓国語版)

研究組織			
氏 名 Name	所属・学科・職名 Affiliation, department, and position		
北中 淳子 チェ・ソヒ	文学部 教授		
	日本国立民族学博物館·助教		
イ・ヒョンジョン	韓国ソウル大学人類学科・副教授		
ムン・ウジョン	韓国漢陽大学看護学科・助教授		
イ・ジュヒョン	フランス・パリ第 5 大学社会学科・博士課程生		

1. 研究成果実績の概要

本助成金は、拙書"Depression in Japan: Psychiatric Cures for a Society in Distress" (Princeton University Press, 2012) の韓国語版の刊行費用としていただいた。本書はアメリカ人類学会東アジア部門の Francis Hsu 賞を受賞し、これまでに、日本語版、フランス語版、ペルシア語版が出され、一部の章は中国語にも訳されている。今回の韓国語版はアジアにおけるメンタルヘルスへの関心のさらなる高まりを示すものである。

韓国は、自殺率、うつ病有病率とも OECD1 位を記録しており、統計庁の「2019 年死亡原因統計」によると、1 日平均 37.8 件の自殺が起きているという。自殺とうつ病の関連がいわれ、社会的介入が早急に求められるなかで、比較文化的視点を提供する本書に注目が集まったようである。

翻訳は、日本国立民族学博物館・助教のチェ・ソヒ先生によって企画され、チーム全体の監訳を韓国における自殺の専門家ソウル大学人類学科教授 イ・ヒョンジョン先生がご担当くださった。April Books から 2023 年 6 月 10 日(電子版 6 月 30 日)出版され、6 月 27 日現在すでに多くの韓国メディアに取り上げていただいている(以下参照)。朝鮮日報、YTN、ソウル経済、世界日報等でも報道されたようである。

- ・[キョンヒャン新聞]日本の会社員の「Karoshi」をアメリカ人が信じられなかった理由 https://www.khan.co.kr/culture/culture-general/article/202306170800021 ・[ハンギョレ]「社会的な病気」うつ病、個人を治療するのか https://www.hani.co.kr/arti/culture/book/1096205.html
- ・[国民日報]「精神病から国民病へ」… 日本でうつ病が急増した過程と理由

https://news.kmib.co.kr/article/view.asp?arcid=0924307059&code=13150000&cp=nv

- ·[文化日報] 90 年代末、日本を揺るがした「過労うつ病」… 今韓国社会と恐ろしいほど似ている https://www.munhwa.com/news/ view.html?no=2023060901031912047001
- ・[ヘルス朝鮮]うつ病は心の風邪? 「伝説的コピー」の怪しい出典 https://health.chosun.com/site/data/html_dir/ 2023/06/14/2023061401939.html
- ・[教授新聞]うつ病はどのように病気になったのか http://www.kyosu.net/news/articleView.html?idxno=106060

2. 研究成果実績の概要(英訳)

The grant has been used for the Korean translation and publication of my English book: "Depression in Japan: Psychiatric Cures for a Society in Distress" (Princeton University Press, 2012). The book has received the American Anthropological Association's Francis Hsu Award, among other awards, and has been translated into Japanese, French, Persian, and parts of it into Chinese. The Korean translation suggests an increasing awareness of mental health issues in Asia more broadly.

Korea is known for its high rates of depression and suicide, and it was reported in 2020 that an average of 37.8 cases of suicide occur in one day. While the link between suicide and depression has been heatedly discussed, this book seems to have found a receptive audience who wish to understand the phenomena from a cross-cultural, comparative perspective.

The idea of translation was initially proposed by Korean anthropologist Prof. Sohee Che, and the translation team of 4 Korean scholars was overseen by Prof. Hyeon Jung Lee in the Department of Anthropology (and the Director of the Institute for Cross-Cultural Studies) at Seoul National University.

Since the book was published on June 10, 2023 (e-book on June 30, 2023), it has received numerous favorable reviews in the Korean media.

3. 本研究課題に関する発表				
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)	
기타나카 준코 (翻訳:제소 희·주현·문우종·監修:이현 정)	우울증은 어떻게 병이 되었나: 일 본에서의 우울증의 탄생	사월의 책	2023 年 6 月 30 日	
4. 本出版物に関する事項				
発行人	発行所	印刷所	発行年月日	
안희곤 アン・ヒゴン	사월의 책	教保 P & B	2023年06月10日	

発行部数	定価	配布または寄贈先	
1000	25000	関係機関その他	備考
		翻訳者、監修者 22 部 新聞・メディア 58 部、韓国人類学研究会等関連学会 10 部、国立中央図書館等4部	